

産科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 妊娠中の抗甲状腺抗体と妊娠帰結・産褥甲状腺機能異常の関連についての検討

[研究機関] 北海道大学病院 産科

[研究責任者] 西田 竜太郎（産科・助教）

[研究の目的]

自分の組織に対する抗体のひとつである抗甲状腺抗体をもつ妊娠女性では、産科合併症や産褥期甲状腺機能異常の頻度が高いという報告があります。北海道大学病院産科では妊娠中の初期検査として、平成13年からの9年間に約1200名の方に妊娠中と産後の両方に甲状腺濾紙検査（甲状腺機能検査と抗体定量検査）を行ってきました。本研究は、妊娠女性における妊娠初期の抗甲状腺抗体の有無と産科合併症や産後の甲状腺機能異常の有無を振り返って調べることにより、妊娠初期に抗甲状腺抗体が陽性であることの診断的意義を明らかにすることを目的とします。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

平成13年1月1日から平成21年12月31日の間に当院にて分娩した方のうち、妊娠中・産後1ヶ月健診・産後3ヶ月健診時に妊婦甲状腺濾紙検査を受けた妊娠女性

●利用するカルテ情報

対象について、以下の項目の調査をおこないます。

- ① 母体年齢
- ② 非妊時 BMI
- ③ 経産回数
- ④ 分娩時の妊娠週数
- ⑤ 分娩様式
- ⑥ 出生体重
- ⑦ 新生児の出生直後の健康状態（1分）
- ⑧ 新生児の出生直後の健康状態（5分）
- ⑨ 臍帯動脈血 pH
- ⑩ 妊娠高血圧症
- ⑪ 常位胎盤早期剥離
- ⑫ 糖尿病
- ⑬ 自己免疫疾患
- ⑭ 甲状腺疾患
- ⑮ 新生児の甲状腺機能、など

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北14条西5丁目
北海道大学病院産科 担当医師 西田 竜太郎
電話 011-706-6051 FAX 011-706-7981